

令和元年度 公益財団法人黒部市体育協会事業報告

本協会は、スポーツの普及並びに振興に関する事業を行い、市民の健康増進と体力の増進並びに競技力の向上を図り、明朗で活発な体育文化の振興に寄与することを目的として次の諸事業を展開した。

I 法人運営について

1. 諸会議等の開催

事業の適切な推進を図るため、次のとおり諸会議等を開催した。

会議名		回数	期 日
評議員会		1回	令和 元年 5月17日(金)
理事会		1回	平成31年 4月26日(金)
		2回	令和 元年 7月10日(水)
		3回	令和 元年12月 3日(火)
		4回	令和 2年 3月24日(火)
専門 部会	総務部会	1回	平成31年 4月15日(月)
		2回	令和 元年11月25日(月)
	広報・調査部会	1回	平成31年 4月26日(金)
		2回	令和 元年12月 6日(金)
	施設運営部会	1回	令和 元年11月19日(火)
	競技スポーツ推進部会	1回	令和 元年12月20日(金)
地域スポーツ推進部会	1回	令和 元年11月28日(木)	

2. 体育、スポーツ関係者の表彰について

多年にわたり本市のスポーツの向上に貢献し、その功績が顕著と認められる者やスポーツの向上に尽力し、その成績が特に優秀な団体または個人に表彰を行った。

表彰名	対象者	
スポーツ功労者表彰	元加盟団体会長等	個人2名
スポーツ成績優秀者表彰	全国大会優勝等	個人9名
スポーツ成績優秀団体表彰		3団体

II 公益目的事業について

1. 市民の生涯スポーツの振興並びに健康増進及び体力の向上を図るための情報提供・調査及び研究に関すること

本市は平成20年に「スポーツ健康都市」を宣言し「市民ひとり1スポーツ」を合い言葉に「スポーツを通じて、健康で活力に満ちた人づくり・魅力あるまちづくり」を目指しており、その旨を共有し様々な大会及び教室事業、啓発事業を実施した。

また、市民のスポーツ活動報告、行事予定、施設情報など、スポーツに関する情報を幅広く市民に伝え、市民がスポーツに興味関心を持ち、スポーツ実践意欲や健康増進・体力の向上意欲の向上を図った。

更に、市民ニーズの把握に務め今後のスポーツ振興策への反映を図った。

[1]「市民ひとり1スポーツ」の環境づくり

《1》カーター記念黒部名水マラソンの開催

5月26日(日)老若男女を問わず、誰でも気軽に参加できるマラソン大会を下記により開催した。

第36回カーター記念黒部名水マラソン

参加者数	10,390人
フルマラソン	5,786人
10km	2,165人
車イス	7人
5km	1,238人
3km	639人
ジョギング	555人

大会運営ボランティア数
給水係、選手受付係、自主整理員
駐車場係など 約2,700人

《2》KUROBEスポーツファミリー事業(総合型地域スポーツクラブ)

黒部市総合体育センターを拠点施設に、誰でも気軽に運動できる環境づくりを目指し総合型地域スポーツクラブ型の教室事業を実施。参加者、指導者、地域代表らによる推進委員会を開催し、市民ニーズに即した教室を開催した。

令和元年度実績 別紙のとおり

《3》ジュニアスイミングスクール事業

施設の有効活用と小学生を対象とした体力の向上と団体行動の規律を身につけることを目的に水泳教室を実施した。

令和元年度実績 別紙のとおり

《4》運動教室(幼児・高齢者等)の拡充

幼児・高齢者への運動する機会を提供し、継続的に運動する習慣づくりを目的として各種教室を実施した。

令和元年度実績 別紙のとおり

《5》医科学的運動指導の環境づくり

市民病院との連携により、傷害によるリハビリテーション通院者の社会復帰を公共施設利用で支援することを目的に、運動の指導、補助を行う。

また、それぞれの運動目的に合わせ、体力測定を実施し、日ス協公認のスポーツプログラマーやNSCA有資格者による運動プログラムの作成・指導・補助を行った。

指導員は、各団体が主催する研修会に参加し、新たな指導方法を学び実践した。

[2] スポーツ情報の収集と発信並びに市民ニーズへの即応

《1》最新の情報発信とスポーツ健康都市のPR

広報・調査部会を開催し、市民に広くスポーツに関する情報、活動の報告を行った。

情報発信方法	発行部数 (回数)	対象	主な内容
広報誌「体協だより」の発刊	13,560部 (年6回)	市内全世帯への配布	・市民のスポーツ活動報告 ・行事予定 ・表彰受賞者
インターネットへの情報掲載	随時更新	全般	・情報公開 ・団体紹介 ・市内体育施設の概要 ・大会の情報、大会結果

情報発信方法	発行部数 (回数)	対象	主な内容
施設だよりの発刊	1,000部 (年12回)	施設利用者 市内小学校等への配布	・大会情報 ・施設の予約状況
他の機関が発行する機関紙、情報誌への情報提供 (市報、情報誌など)	随時	市民	・行事案内、大会情報

《2》市民ニーズ、運動実践状態の把握と対応

専門部会等の各種会議において、市民の活動状況や課題などの情報の収集に努めた。

2. スポーツ行事の企画並びに運営に関すること

「市民ひとり1スポーツ」を推進するにあたりスポーツに親しみ、体験できる環境づくりに努めた。

また、スポーツを通じて地域の活性化を図ることを目的とし、様々なイベントの企画並びに各種大会等の啓発事業を実施した。

[1] スポーツ交流と観光との連携

《1》交流会、イベントの開催誘致

スポーツに親しみ交流の輪を広めスポーツ実践意欲を高めた。また、スポーツ交流人口の拡充を図ることを目的に各種イベントを企画した。

事業名	参加者数	内容等
エブリバディスポーツデイ2019 元気とやまスポレク交流大会	7,500人	・体験型コーナーを設置(カヌー、アーチェリーなど) ・筋肉量など身体バランス測定 ・KUROBEスポーツファミリー教室発表
日独スポーツ少年団同時交流事業	12人 (ドイツ訪問団)	・日独両国スポーツ少年団の青少年及び指導者の相互交流により友好と親善を深める
チャレンジウオーク (KUROBE自然散策事業)	23人	・黒部総体から宇奈月温泉を目指す春のウォーキングイベント
ラフティング (KUROBE自然散策事業)	12人	・ゴムボートで激流の黒部川を下りながら自然を満喫する夏のイベント
黒部峡谷パノラマ展望ツアー (KUROBE自然散策事業)	10人	・登山道を歩き黒部の自然の新たな魅力を発見する秋のイベント
黒部市民スキー大会 ※雪不足のため中止	0人	・地元宇奈月温泉スキー場で市民が集いタイムを競い合う
親子スキー教室 ※雪不足のため中止	0人	・スキーの基礎を教えるとともに身体を動かす楽しさを伝える
スノーシュー (KUROBE自然散策事業) ※雪不足のため中止	0人	・スノーシューを履いて宇奈月ダム周辺を散策する冬のイベント

《2》スポーツと観光のタイアップ

全国大会や北信越大会を誘致し、来市される方々へ黒部市の観光資源の魅力をPRした。

また、黒部名水マラソンなど県外から参加する方々へ市内宿泊施設や観光名所を紹介するなどスポーツを通じて交流人口の拡大に努めた。

大会・イベント名	会場	来場者数
くろべフェア	黒部市総合体育センター	35,000人
北信越高校新人バレーボール大会	黒部市総合体育センター	1,800人

《3》各種大会の開催、誘致、協力

スポーツ交流人口の拡大を目的に、市内のスポーツ施設を活用した大会を積極的に誘致し、運営等において協力した。

大会名	会 場	来場者数
黒部市老人スポーツ大会	黒部市総合体育センター	1,000人
県高校・クラブ対抗駅伝	黒部市内一円	900人

《4》プロスポーツ大会の誘致

プロ等によるトップレベルの競技会などを身近で観ることができる環境を整備し、スポーツ人口の拡大を図ることを目的に、各種大会の誘致・開催協力をした。

大会名	会 場	開催日数	来場者数
Vリーグ女子黒部大会	黒部市総合体育センター	3日	6,700人
日本女子ソフトボールリーグ	宮野運動公園野球場	2日	1,400人

3. 体育、スポーツ団体の育成と相互の連絡に関すること

加盟団体との連携を図り、組織の育成と相互の連携を図った。

[1]組織の強化と財政政基盤の強化

《1》加盟団体の連携と事務局強化

①地区体育協会の推進

地域の方々の身近なスポーツを推進する16地区体育協会(加盟団体)の活動を支援を行った。市内全域を対象とした市民体育大会を開催するなど、市民のスポーツ交流を図った。

事業名	参加地域	開催日数	参加者数
黒部市民体育大会	16地区 (市内全地区)	4日	約1,700人
区民体育大会	15地区	各地区 1日	約6,000人
黒部市駅伝競走大会 たすき☆ロードリレー	7チーム	1日	140人

②競技協会の推進

地域の方々の身近なスポーツを推進する25競技協会(加盟団体)の活動を支援を行った。市内全域を対象とした各種大会を開催するなど、市民のスポーツ交流を図った。

③事務局強化

加盟団体との連携を図る上で、連絡調整を行う組織体制、人員体制を図った。

《2》スポーツ少年団、クラブチームの育成事業

児童生徒のスポーツ環境の整備を目的にスポーツ少年団本部を本協会事務局に置き、各種大会、研修会等の連絡調整を図るなど、活動の支援を行った。

年度	団体数	所属人数	主な活動
令和元年度	32団体	976人	野球・サッカー・バスケット・陸上・など

大会名	競技数	参加者数	内 容
市スポーツ少年団 競技別交流大会	4競技	326人	バレー・バスケ・野球・サッカー
市ジュニア大会	1競技	109人	卓球

4. 体育、スポーツ指導者の養成と研修に関すること

市内スポーツ指導者の資質の向上を図ることを目的に研修会等を開催し、競技力向上、生涯スポーツの推進など様々な分野で積極的な参加を促した。併せて、有資格指導者の増員と指導機会の拡充を図った。

[1]指導者の育成と指導機会拡充の環境づくり

《1》指導者研修会の実施

指導者の資質の向上を図ることを目的に各種研修会を開催した。また、他団体が主催する研修会等を周知し、指導者の研修意欲の向上を図った。

事業名	回数	受講者	主な内容
体育指導者研修会	年1回	15人	静的ストレッチ・動的ストレッチ
AED講習会	年3回	24人	普通救命 I 講習会 講師－黒部消防署員、黒部市体育協会職員

《2》指導者資格取得助成制度による有資格者の増員

市民のスポーツニーズが多様化する中、専門性を持った指導者の養成が望まれている。各種スポーツの教室や競技指導等を行う指導者の増員を図るため、新たな指導者資格取得者に助成金を交付するなど資格取得意欲を向上させた。

《3》指導員派遣による運動教室等の実施

市内団体や企業等からの健康増進、体力の向上を目的とした指導員派遣要望に対し、有資格指導員の派遣を行った。

令和元年度実績 別紙のとおり

5. 競技力の向上に関すること

全国で活躍する選手を育成するため、長期的なプランを検討しジュニア層の底辺拡大並びに強化に努めた。

[1]全国で活躍する選手育成の環境づくり

《1》ジュニア層の育成と強化支援

競技力向上を図る上で、競技人口の拡大と指導者の育成等の環境が大きな役割を果たすと考えられるため、幼少の頃からスポーツに携わる環境を整備した。

また、全国大会等へ出場する選手、県大会で優秀な成績を修めた競技協会へ更なる強化支援として強化費を支給した。

①運動あそび教室－幼児を対象に実施し運動基礎能力の向上を図る事業

(年長)・実施回数(Ⅰ期) 24回 ・延べ参加人数 425人
 ・実施回数(Ⅱ期) 24回 ・延べ参加人数 305人
(年中)・実施回数 2回 ・延べ参加人数 76人

※新型コロナウイルスの影響により3月は中止

②ちびっ子教室－小学1～3年生を対象に多様なスポーツを体験し興味関心を高める事業

・種目数 17種目 ・実施回数 165回 ・延べ参加人数 5,601人

③わんぱく教室－小学4～6年生を対象に多用なスポーツを体験し興味を高める事業

・種目数 14種目 ・実施回数 136回 ・延べ参加人数 2,128人

- ④スポーツ少年団－競技種目を選択し定期的な運動ができる団体
 - ・種目数 32団体
- ⑤指導者育成－指導者の有資格化を図り資質の向上を図る
 - ・体育指導者研修会年1回 ・参加者12人
- ⑥運動環境の整備－活動場所の確保として施設等の利用の配慮を行う
 - ・活動場所について、年間を通じて活動できるよう施設の事前予約を受け付けた。

《2》駅伝、マラソンのまちづくり

駅伝、マラソンを象徴的なスポーツ推進策とし、まちづくりとともに発展させる。各自の目的にあった運動実践が可能となるよう、市民ニーズに対応した環境整備を図った。

また、競技レベルの高い大会を開催することにより、市民の競技レベル向上を図った。

事業名	主な内容
黒部名水マラソン	市民マラソン大会 参加者、スタッフ、応援など参画意欲の向上を図り、市民協働による大会運営を行った
県高校・クラブ対抗駅伝	県内の駅伝競走大会の誘致 地元チームの参加を促し、市民のスポーツへの興味関心を高めた
市駅伝競走大会	市競技協会主催事業への協力 地元チームの参加を促し、市民のスポーツへの興味関心を高めた
県駅伝競走大会	黒部市代表チームを結成し、県大会へ参加 競技力の向上と代表チームの活躍により市民の興味関心を高めた
市駅伝強化委員会	定期的な合同強化練習会の開催 専門指導員を配置し、競技力の向上を図った

《3》競技協会と連携したクラブ創設(中学生対象)に対する補助制度

競技協会及び個人団体を主体としたクラブ創設に対する補助制度を設け、活動組織の拡大と競技力の向上を目指した。

(新規クラブ)

クラブ名	競技	活動開始日
黒部ジュニアバドミントン教室	バドミントン	6月30日
黒部ジュニア柔道クラブ	柔道	7月7日
黒部アクアアスリート	陸上	7月28日
黒部ユースソフトテニスクラブ	ソフトテニス	11月3日

(既存クラブ)

クラブ名	競技
Kurobe・FC	サッカー
BC・KUROBE	バスケットボール
Kurobe・ドリームズ	硬式野球
黒部スイミングクラブ	水泳
KUROBEレスリングクラブ	レスリング
アクアジュニア	バレーボール

6. スポーツ施設等の管理運営に関すること

市民のだれもが安全で、かつ公正な利用ができるスポーツ環境を整え、市民の健康増進と体力の向上に寄与できる効率的な管理運営を行った。利用者ニーズに対応できる体制を整え、利用者の満

足度の向上とスポーツ実施人口の拡大に努めた。

[1] スポーツ施設の利用促進と管理運営

《1》指定管理施設の管理運営

効率的な管理運営を実践するとともに、利用者ニーズの把握(12月アンケート実施)に努め、利用者の満足度を向上し利用促進を図った。また、定期的な団体利用調整会、年間計画を立てるカレンダー会議を開催するなど、市民が公平に利用できるよう配慮した。

施設名	利用者人数	使用料収入
市総合体育センター	327,821人	22,622,302円
市総合公園	251,781人	46,042円

《2》市内スポーツ施設の利用促進

スポーツ施設管理業務とソフト事業を一体的に推進し、スポーツ実施率の向上、スポーツ交流人口の拡充を図った。

事業名	使用施設	参加者数	主な内容
新春フェスティバル	市総合体育センター	1,750人	卓球大会、正月遊び、KUROBEスポーツファミリー教室発表など
温水プールゆうえんちデイ & キッズパーク(同時開催)	市総合体育センター(温水プール)	518人	泳ぐ以外の遊びを通してプールの楽しさを知ってもらう
脂肪燃焼プログラム	市総合体育センター(トレーニング室)	998人 毎日	30分間の脂肪燃焼運動プログラムを有資格指導員が指導する
美ボディエクササイズ	市総合体育センター(トレーニング室)	95人 月2回	約45分間のピラティス系運動指導プログラムを有資格指導員が指導する
貯筋エクササイズ	市総合体育センター(トレーニング室)	101人 月2回	約45分間の筋力系運動指導プログラムを有資格指導員が指導する
InBody測定	市総合体育センター(トレーニング室)	583人	筋肉量など身体バランス測定を行い運動の意識づけを図る
トレーニング室スタンプカード事業	市総合体育センター(トレーニング室)	715人	年3回の企画としてミニ教室参加者にスタンプカードを発行
温水プールスタンプカード事業	市総合体育センター(温水プール)	2,000人	夏休み・冬休み企画として利用者スタンプカードを発行
短期アーチェリー教室	市健康スポーツプラザ	4回 59人	未経験者でも気軽に参加できるスポーツ教室
親子短期アーチェリー教室	市健康スポーツプラザ	4回 76人	親子で有意義な時間を過ごしスポーツの楽しさを知る
短期水泳教室	市総合体育センター(温水プール)	4回×2コース 224人	夏休みを利用して水泳の上達を図る
親子短期水泳教室	市総合体育センター(温水プール)	4回 49人	親子でスキンシップをとりながら水泳の良さを知る
年長児対象短期水泳教室	市総合体育センター(温水プール)	5回 42人	教室参加をきっかけに家族でのプール利用促進を図る
キッズパーク(3月開催) ※新型コロナウイルスの影響により中止	市総合体育センター	0人	幼児を対象とした体験型レクリエーション

Ⅲ 収益目的事業について

本協会が管理運営する市総合体育センターに利用者の利便性を図るため、スポーツ用品(水着
ラインテープなど)の販売物を設置し提供した。

また、利用者への利便性のためコピー・印刷などができる環境とした。